

第39回新潟市大規模小売店舗立地審議会の概要

日時： 令和4年8月5日（金） 午前10時00分から
場所： 新潟市役所 本館6階 講堂
出席者： 岩瀬委員、佐野委員、武田委員、田中委員、田辺委員、野沢委員、
横尾委員
審議事項： （仮称）山谷北ショッピングセンターの新設届出について（1回目）
審議内容： 設置者から当案件の概要を説明し、その後、審議を行った。

【（仮称）山谷北ショッピングセンターの新設届出について（1回目）】

委員 未定であった店舗の室外機等の設置に伴う騒音予測について、届出書の内容から変更はないか。特に南側は住宅地側になるが、問題ないという認識でいいか。

設置者 騒音予測に関する資料は、出店予定店舗からもらっているため、大きな変更はない。また、室外機は北側の建物裏側に配置するようにしているので、大きな影響はないと考えている。

委員 届出のエリアの隣には大きなスーパーがあるが、車や歩行者などの相互の行き来は想定しているのか。

設置者 隣にはコモタウン新津があるが、歩行者は距離が離れているので、もし移動するのであれば車で移動されるかと思うが、移動する際には周辺の交通量の多い道路を経由しない経路で行き来することが可能かと思うので、道路混雑の影響は少ないと考えている。

委員 交通量の多いエリアを避けると住宅地側の交通量が増加するのではないか。

委員 交通量の多いエリアは、どのような混雑状況なのか。需要率でみるとそこまで混んでいないように感じるが。

設置者 コモタウン新津への出入りは右左折自由となっており、右折に伴う混雑や距離の離れた信号の影響でうまく車が流れないことがあり、交通量調査自体の内容から真の交通需要を把握することが困難なことから、問題ないというようになるが、住民は混雑しているという認識でいる。

委員 需要率だけではタイミング等によって実態や予測と乖離する部分もあるので、開店後適宜対処していただきたい。

設置者 なるべく既存の混雑する道路を避けるような案内をする形で地元住民には説明させていただいており、地元住民からも同様に要望いただいている。

委員 この地域の交通量は、資料からは見えづらいが、多い認識でいるので、懸念するところではある。

委員 交通量の予測方法が少なめに算出されるように感じる。

設置者 5年に1回国が道路交通センサスを10月ごろに実施しているのだが、そのデータと今回実施した交通量調査結果と極端に差がないかチェックは実施した。調査時点で特に雪もなく、交通量に影響のあるトラブルもなかったので、問題ないと思っている。

委員 出入口4について懸念している。現地を見るとカーブが急で、駐車場から出るときに北側が見にくい。秋葉警察署と協議し、左折オンリーとしているが、どの程度拘束力があるのか。大きな看板を設置したとしても、交通量が少ない時や普段からこの道路を利用している方などは、特にためらわずに右折してしまうのではないかと心配している。

設置者 警察と相談していく中で、今、事業者としてできることは、看板を設置することや、左折の矢印を地面に書くといった対策まで。道路については開発行為の中で整備されたものなので、出入口も一体のものとして決められた経緯がある。その前提の中で、第一段階として左折イン左折アウトを検討しているが、仮に开店後に事故などが多発するような場合には、道路管理者と協議し、道路の真ん中にラバーコーンを設置し、物理的に右折できないような対策をとるような場合もある。
事故が多発する場合には警察署からも再協議をするよう言われているので、必要な対応を検討したい。

委員 届出書の資料1-13、資料1-14に記載の西側交差点から南下して国道460号に向かう線が東側にまがった形になっているが、実態と合っていないのではないか。

設置者 実態は緩やかに東側に曲がる道となっているが、資料1-13、1-14は誇張しすぎてしまっているかもしれない。

委員 資料1-13の図面で言う、西側交差点から南へ向かう道路の交通量が多い。コモタウン新津の前の混雑する道路を回避するルートとして地元の人が利用しているようで、利用者の多さから出入口4への影響も気になっている。状況を見て対策を検討されているということで、承知した。

委員 これだけ大きな店舗だと広範囲からの集客が見込まれ、日常生活や、地域の経済への影響も大きなものになるため、店舗関係者と地域住民の関係は良好なものであってほしいと思う。地域貢献計画についてどのように考えているか。

設置者 隣のコモタウン新津の内容を見ると、防災拠点という形で非常時に一時避難場所として駐車場を提供することとなっているので、このエリアについても、そうした使い方も市と協議していきたい。
地域の商工会議所への加入は、加入の話があれば、個別に検討していきたい。

設置者 基本的な店舗の地域貢献については、にぎわいのあるまちづくり条例に基づき、青少年育成に関する防犯の強化や、地域への雇用機会の提供などを行っている。また、過去に中越地震などの大規模災害が発生した際は、店舗機能が復旧しなくても販売できる商品を販売したり、一時的な充電機を提供したりした。
商工会への加入や地域の祭りへの寄附などはお答えしづらいところではあるが、大きな点での貢献は充分にできると考えているし、要望等があれば、その都度、誠心誠意取り組んでいきたい。

委員 地域貢献については、個々の店舗の取組みではありながらも、お互いが連携して防災等に取り組める仕組みが出来ているのか気になっていた。

委員 資料 2-24 の表で予測地点の騒音レベル最大値が 0.0 と記載されているが、計算するとマイナスの数値になる。正しくはマイナスの数値を記載するのが正しいので、今後ご注意ください。

＜委員による審議＞

委員 出入口 4 について、実際に店舗がオープンした後の状況の予測が難しく、強く意見として提示するのも難しい部分もあるが、事故の発生について懸念がある。

事務局 設置者へ意見を通知する際には、意見なしの場合であっても、懸念事項として留意事項を沿えて設置者へ通知することは可能。

委員 看板と道路標示で対応することだが、色遣いや音、光などユニバーサルデザインの視点でしっかり対応していただきたい。

委員 事故が起こったらといていたが、起こってからでは遅い。事故が予想されるのであれば対応をお願いしたい。

委員 実際のところ警察と協議の中で進めていることもあるので、意見として過去に言ったことはないと思うが、事務局としてはどう考えるか。

事務局 今回の届出についても設置者と警察が事前に協議を行った結果を踏まえて内容を決定しているところではあるが、警察からも、問題があれば協議するよう言われているとのことなので、届出上の意見はないが留意事項は付されているような状況かと思う。

委員 江南区にはアピタやプラントがあるが、そこも交通量が非常に多く、道路には左折しかできないようにコーンが設置してある。あると安全性が確保されると思うが、混雑につながっている。
コモタウン新津前の道路は本当に混雑する。今回の届出に関しても混雑は目に見えている。

委員 届出店舗の周辺にも複数店舗がある。秋葉区らしいまちづくりの視点で進めたいと思う中で、どんどん画一化されていってしまうのを感じている。地域の方との連携を大事にしていきたいし、一住民としてここにいるのだという意識を忘れないでいただきたい。個々の店舗の取組みはあるが、一体としての話は出てこなかった。多様な人々にとってやさしい空間づくりを自分たちが担うんだという意識を忘れないでいただきたいと思う。

委員 商工会に入る、入らないという話ではなく、SDGs など、本当に求められている地域貢献について聞きたかった。

委員 今後、審議事項を踏まえ現地踏査を実施し、結審審議をすることとする。